



平成 19 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況（連結）

平成 19 年 2 月 6 日

上場会社名 株式会社トクヤマ

(コード番号：4043 東証、大証第 1 部)

(URL <http://www.tokuyama.co.jp/>)

代表者 代表取締役社長 中原 茂明

問合せ先責任者 広報グループリーダー 松本 良文 TEL：(03) 3499-8023

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

(内容)

◎固定資産の減価償却費の方法

(1) 有形固定資産 : 年度見込額のうち当第 3 四半期分を計上しています。

(2) 無形固定資産 : 年度見込額のうち当第 3 四半期分を計上しています。

② 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有

連結(新規) 2 社(除外) 1 社

持分法(新規) 1 社(除外) 2 社

2. 平成 19 年 3 月期第 3 四半期財務・業績の概況(平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 12 月 31 日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況

(注)金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19 年 3 月期第 3 四半期	217,640	12.7	25,080	49.7	23,081	55.1	14,616	53.9
18 年 3 月期第 3 四半期	193,044	11.1	16,759	40.9	14,880	56.7	9,496	92.0
(参考)18 年 3 月期	263,373	10.9	24,311	33.8	21,493	40.1	13,964	26.8

	1 株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
19 年 3 月期第 3 四半期	53.23	—
18 年 3 月期第 3 四半期	36.43	—
(参考)18 年 3 月期	52.61	—

(注)売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示します。

[経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

当第 3 四半期の業績は売上高、営業利益とも前年同期実績を上回りました。

<化学品>

コスト引下げに尽力するとともに、苛性ソーダ、酸化プロピレン、イソプロピルアルコール、塩化ビニル樹脂、ポリプロピレンフィルムなど、原燃料価格上昇の影響を受けた製品につき販売価格の是正を行い、業績は回復傾向にあります。

以上の結果、当セグメントの売上高は 842 億 6 千万円(対前年同期比 11.1%増)、営業利益は 60 億 8 千万円(対前年同期比 6.8%増)で増収増益となり、売上高全体に占める割合は 38.7%となりました。

<特殊品>

多結晶シリコンの需要は半導体向け、太陽電池向けともに順調に推移しました。乾式シリカは新規分野の開拓に努めました。またファインケミカルはプラスチックレンズ関連材料が伸長しております。

臨床検査試薬、臨床検査情報システムの(株)エイアンドティーは、コスト引き下げに注力し

ました。

以上の結果、当セグメントの売上高は 651 億円（対前年同期比 19.9%増）、営業利益は 184 億 6 千万円（対前年同期比 74.3%増）で増収増益となり、売上高全体に占める割合は 29.9%となりました。

<セメント建材その他>

大都市圏での需要増はあるものの、公共投資削減などにより厳しい事業環境が続いております。この様な状況下、価格是正、コスト引き下げ等に注力しました。資源環境事業は受入れ廃棄物の構成を最適化すべく努力しておりますが、業績は伸び悩みました。

樹脂サッシ事業を展開するシャノングループは引き続き関東以西での拡販に努めるとともに、販売価格是正に尽力しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は 682 億 6 千万円（対前年同期比 8.5%増）、営業利益は 32 億 4 千万円（対前年同期比 16.9%増）で増収増益となり、売上高全体に占める割合は 31.4%となりました。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産 百万円	純資産 百万円	自己資本比率 %	1株当たり純資産 円 銭
19年3月期第3四半期	367,532	193,132	51.0	683.00
18年3月期第3四半期	359,362	173,058	48.2	630.01
(参考)18年3月期	361,103	179,024	49.6	651.64

(注)平成18年3月期第3四半期及び平成18年3月期の数値については、従来の「株主資本」、「株主資本比率」、「1株当たり株主資本」を記載しております。

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

当第3四半期の財政状態は以下の通りです。

平成18年3月末（前期末）と比較して総資産は64億2千万円の増加、純資産は96億円の増加（前期末残高に少数株主持分を含めて算定）となりました。また、自己資本比率は51.0%と1.4ポイント増加しました。

資産増減の主なものは、流動資産では現金及び預金の減少40億5千万円、受取手形及び売掛金の増加76億2千万円、固定資産では機械装置・運搬具の増加26億2千万円、投資有価証券76億1千万円の減少などです。

負債は31億7千万円減少しました。増減の主な内訳は、支払手形及び買掛金の増加66億3千万円、社債償還や長期借入金の減少等による有利子負債の減少100億6千万円などです。

純資産の増加96億円の内訳は、その他有価証券評価差額金が44億8千万円減少しましたが、利益剰余金が128億9千万円増加したこと等によるものです。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー 百万円	投資活動による キャッシュ・フロー 百万円	財務活動による キャッシュ・フロー 百万円	現金及び現金同等物 期末残高 百万円
19年3月期第3四半期	22,359	△ 14,742	△ 12,172	26,737
18年3月期第3四半期	21,526	△ 18,641	13,673	31,352
(参考)18年3月期	25,748	△ 22,758	13,155	30,998

[連結キャッシュ・フロー計算書に関する定性的情報等]

営業活動によるキャッシュ・フローは、223億5千万円の収入となりました。内訳の主なものは、税金等調整前四半期純利益237億4千万円、減価償却費130億1千万円、法人税等の支払109億円などです。

投資活動によるキャッシュ・フローは147億4千万円の支出となりました。内訳の主なものは、有形固定資産の取得による支出133億円などです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、121億7千万円の支出となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第3四半期末残高は、期首に比べ42億6千万円減少し、267億3千万円となりました。

(参考1) 第3四半期個別業績概況(平成18年4月1日～平成18年12月31日)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第3四半期	142,762	13.7	19,660	67.6	18,974	75.8	12,188	70.0
18年3月期第3四半期	125,529	10.8	11,728	73.2	10,792	97.9	7,169	50.6
(参考)18年3月期	171,189	10.2	17,070	65.8	16,164	86.1	10,762	41.2

	1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
19年3月期第3四半期	44.39	—
18年3月期第3四半期	27.50	—
(参考)18年3月期	40.49	—

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示します。

3. 平成19年3月期の連結業績予想(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

平成18年11月9日の中間決算発表時に公表した平成19年3月期(平成18年4月1日～平成19年3月31日)の連結業績予想を以下のとおり修正いたします。

平成19年3月期連結業績予想数値の修正

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	290,000	32,000	29,000	18,000
今回修正予想(B)	293,000	34,000	31,000	19,500
増減額(B)-(A)	3,000	2,000	2,000	1,500
増減率(%)	1.0	6.3	6.9	8.3
前期(平成18年3月期)実績	263,373	24,311	21,493	13,964

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 71円03銭

(参考) 平成19年3月期個別業績予想数値の修正

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	191,000	25,000	24,000	15,000
今回修正予想(B)	192,500	27,000	26,000	16,500
増減額(B)-(A)	1,500	2,000	2,000	1,500
増減率(%)	0.8	8.0	8.3	10.0
前期(平成18年3月期)実績	171,189	17,070	16,164	10,762

[業績予想に関する定性的情報等]

特殊品において価格是正が進捗したことや、原料コストが見通しを若干下回りそうであること等により、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益は前回予想を上回る見込みです。

※上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

四半期連結（要約）損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当第3四半期 〔自 18. 4. 1 至 18.12.31〕	前第3四半期 〔自 17. 4. 1 至 17.12.31〕	増 減	(参考)前 期 〔自 17. 4. 1 至 18. 3.31〕
	金 額	金 額	金 額	金 額
I 売上高	217,640	193,044	24,596	263,373
II 売上原価	146,777	132,575	14,202	179,960
売上総利益	70,863	60,469	10,394	83,413
III 販売費及び一般管理費	45,783	43,710	2,073	59,101
営業利益	25,080	16,759	8,320	24,311
IV 営業外収益	2,399	2,682	△ 283	3,709
1. 受取利息及び配当金	506	424	81	476
2. 雑収入	1,892	2,257	△ 365	3,232
V 営業外費用	4,398	4,561	△ 163	6,527
1. 支払利息	1,145	1,229	△ 84	1,637
2. 雑支出	3,253	3,332	△ 79	4,890
經常利益	23,081	14,880	8,200	21,493
VI 特別利益	1,016	1,066	△ 50	2,660
VII 特別損失	348	856	△ 508	2,242
税金等調整前四半期 (当期) 純利益	23,749	15,090	8,658	21,911
法人税等	8,592	4,946	3,646	7,085
少数株主利益 (減算)	540	647	△ 107	861
四半期 (当期) 純利益	14,616	9,496	5,119	13,964

四半期連結（要約）貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当第3四半期 (18.12.31)	前第3四半期 (17.12.31)	増 減	(参考)前 期 (18. 3.31)
	金 額	金 額	金 額	金 額
資産の部				
I 流動資産	150,739	141,796	8,943	143,279
1. 現金及び預金	27,426	31,839	△ 4,413	31,476
2. 受取手形及び売掛金	84,257	72,979	11,277	76,634
3. たな卸資産	27,648	26,831	817	26,214
4. その他	11,407	10,145	1,261	8,953
II 固定資産	216,792	217,566	△ 773	217,824
1. 有形固定資産	148,290	143,630	4,659	142,806
(1) 建物及び構築物	37,111	37,751	△ 640	37,850
(2) 機械装置及び運搬具	67,610	66,539	1,070	64,986
(3) 土地	31,372	29,263	2,108	29,217
(4) その他	12,196	10,075	2,120	10,752
2. 無形固定資産	1,951	1,988	△ 36	1,976
3. 投資その他の資産	66,550	71,946	△ 5,395	73,040
(1) 投資有価証券	53,168	58,824	△ 5,656	60,783
(2) その他	13,382	13,121	260	12,256
資産合計	367,532	359,362	8,170	361,103
負債の部				
I 流動負債	102,462	95,775	6,687	95,070
1. 支払手形及び買掛金	44,282	40,776	3,505	37,646
2. 短期借入金	22,118	17,474	4,644	20,166
3. その他	36,061	37,524	△ 1,462	37,257
II 固定負債	71,937	86,174	△ 14,237	82,508
1. 社債	30,000	30,000	—	30,000
2. 長期借入金	21,343	31,506	△ 10,163	28,556
3. その他	20,594	24,668	△ 4,073	23,952
負債合計	174,400	181,950	△ 7,550	177,578
少数株主持分	—	4,353	—	4,499
資本の部				
I 資本金	—	29,975	—	29,975
II 資本剰余金	—	34,191	—	34,191
III 利益剰余金	—	87,421	—	91,888
IV その他有価証券評価差額金	—	22,919	—	24,250
V 為替換算調整勘定	—	△ 893	—	△ 605
VI 自己株式	—	△ 555	—	△ 675
資本合計	—	173,058	—	179,024
負債、少数株主持分及び資本合計	—	359,362	—	361,103
純資産の部				
I 株主資本	168,088	—	—	—
1. 資本金	29,975	—	—	—
2. 資本剰余金	34,192	—	—	—
3. 利益剰余金	104,784	—	—	—
4. 自己株式	△ 863	—	—	—
II 換算・評価差額等	19,403	—	—	—
1. その他有価証券評価差額金	19,763	—	—	—
2. 為替換算調整勘定	△ 360	—	—	—
III 少数株主持分	5,639	—	—	—
純資産合計	193,132	—	—	—
負債、純資産合計	367,532	—	—	—

四半期連結株主資本等変動計算書

当四半期連結会計期間（平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 12 月 31 日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計
平成 18 年 3 月 31 日残高	29,975	34,191	91,888	△ 675	155,380
四半期連結会計期間中の変動額					
剰余金の配当(注)			△ 1,647		△ 1,647
取締役賞与金(注)			△ 65		△ 65
四半期純利益			14,616		14,616
自己株式の取得				△ 188	△ 188
自己株式の処分		1		0	2
連結子会社増加に伴う増加			693		693
持分法適用会社減少に伴う減少			△ 701		△ 701
株主資本以外の項目の四半期連結 会計期間中の変動額（純額）					
四半期連結会計期間中の 変動額合計	—	1	12,895	△ 187	12,708
平成 18 年 12 月 31 日残高	29,975	34,192	104,784	△ 863	168,088

	評価・換算差額等			少数株主 持分	純資産 合計
	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等 合計		
平成 18 年 3 月 31 日残高	24,250	△ 605	23,644	4,499	183,524
四半期連結会計期間中の変動額					
剰余金の配当(注)					△ 1,647
取締役賞与金(注)					△ 65
四半期純利益					14,616
自己株式の取得					△ 188
自己株式の処分					2
連結子会社増加に伴う増加					693
持分法適用会社減少に伴う減少					△ 701
株主資本以外の項目の四半期連結 会計期間中の変動額（純額）	△ 4,486	245	△ 4,240	1,140	△ 3,100
四半期連結会計期間中の 変動額合計	△ 4,486	245	△ 4,240	1,140	9,607
平成 18 年 12 月 31 日残高	19,763	△ 360	19,403	5,639	193,132

（注）平成 18 年 6 月の定時株主総会における利益処分項目および平成 18 年 11 月の取締役会決議による中間配当であります。

四半期連結（要約）キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当第3四半期 〔自 18. 4. 1 至 18.12.31〕	前第3四半期 〔自 17. 4. 1 至 17.12.31〕	(参考)前 期 〔自 17. 4. 1 至 18. 3.31〕
	金 額	金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益	23,749	15,090	21,911
減価償却費	13,018	13,062	18,087
法人税等の支払額	△ 10,906	△ 3,612	△ 3,647
その他	△ 3,501	△ 3,013	△ 10,603
営業活動によるキャッシュ・フロー	22,359	21,526	25,748
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△ 13,301	△ 17,320	△ 22,932
出資金の払込による支出	△ 1,164	△ 1,631	△ 1,640
その他	△ 276	310	1,814
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 14,742	△ 18,641	△ 22,758
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 12,172	13,673	13,155
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	128	△ 6	53
V 現金及び現金同等物の増減額	△ 4,426	16,551	16,198
VI 現金及び現金同等物の期首残高	30,998	14,800	14,800
VII 連結範囲変更に伴う現金及び現金同等物の増加額	165	—	—
VIII 現金及び現金同等物の期末残高	26,737	31,352	30,998

セグメント情報

1. 事業の種類別セグメント情報

当第3四半期(自 18. 4. 1 至 18.12.31)

(単位：百万円)

	化学品 事業	特殊品 事業	セメント建材 その他の 事業	計	消去又は 全社	連結
売上高及び営業損益						
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	84,265	65,108	68,266	217,640	—	217,640
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,388	51	7,784	9,224	(9,224)	—
計	85,653	65,159	76,051	226,864	(9,224)	217,640
営業費用	79,565	46,698	72,809	199,073	(6,513)	192,560
営業利益	6,087	18,461	3,241	27,791	(2,710)	25,080

前第3四半期(自 17. 4. 1 至 17.12.31)

(単位：百万円)

	化学品 事業	特殊品 事業	セメント建材 その他の 事業	計	消去又は 全社	連結
売上高及び営業損益						
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	75,847	54,283	62,912	193,044	—	193,044
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,237	42	6,525	7,806	(7,806)	—
計	77,085	54,326	69,438	200,850	(7,806)	193,044
営業費用	71,383	43,732	66,664	181,780	(5,494)	176,285
営業利益	5,702	10,594	2,773	19,070	(2,311)	16,759

(参考)前期(自 17. 4. 1 至 18. 3.31)

(単位：百万円)

	化学品 事業	特殊品 事業	セメント建材 その他の 事業	計	消去又は 全社	連結
売上高及び営業損益						
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	102,647	76,715	84,010	263,373	—	263,373
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,681	56	8,958	10,695	(10,695)	—
計	104,328	76,772	92,968	274,069	(10,695)	263,373
営業費用	96,634	60,667	89,472	246,774	(7,712)	239,061
営業利益	7,693	16,104	3,496	27,294	(2,982)	24,311

2. 所在地別セグメント情報

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が90%を超えているためその記載を省略しております。

3. 海外売上高

当第3四半期(自 18. 4. 1 至 18.12.31)

(単位：百万円)

	アジア	その他	計
I 海外売上高	26,920	9,670	36,591
II 連結売上高			217,640
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	12.4	4.4	16.8

前第3四半期(自 17. 4. 1 至 17.12.31)

(単位：百万円)

	ア ジ ア	そ の 他	計
I 海外売上高	21,659	7,579	29,238
II 連結売上高			193,044
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	11.2	3.9	15.2

(参考)前 期(自 17. 4. 1 至 18. 3.31)

(単位：百万円)

	ア ジ ア	そ の 他	計
I 海外売上高	30,432	11,124	41,556
II 連結売上高			263,373
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	11.6	4.2	15.8

- (注) 1. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。
 2. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。
 3. 各区分に属する主な国又は地域は、以下の通りであります。
 (1) アジア…中国、韓国、台湾
 (2) その他…欧州、北米